



庄川挽物木地

世界で一つだけの本物。



原木を仕入れて乾燥させ、
白木地に仕上げるまでに約1年。
ものによってはそれ以上の歳月を要します。
木という素材の持ち味を、
十分に生かすため、
手間ひまかけて作られます。
庄川挽物木地は、
未だに昔ながらのやり方で
人の手によって作られています。
庄川挽物木地は、
「経済産業大臣指定 伝統的工芸品」であり、
「とらみブランド」に指定されています。



富山県砺波市
庄川町

富山県砺波市
庄川木工挽物会

TEL.0763-82-1155 
〒932-0315 富山県砺波市庄川町示野116(庄川商工会内)
<https://www.shokoren-toyama.or.jp/~shogawa-wood/>

庄川木工挽物会ではさまざまな職人が在籍しており、
経験豊富で確かな技術を備えた工房が多数ございます。
ご希望にあわせてご紹介しておりますので、
ぜひお気軽にお問い合わせいただくと幸いです。

歳

伝

杣目の表情を魅せる

挽物木地は、横木で加工をす
るため、年輪がさまざまな形で
表れます。その表情は同じ木で
作られたものとは思えないほど
奥深く、変化に富んでいます。





「ともに暮らし、
ゆつくり育てる。」

刻

時を経るほど新しくなる

職人が一つひとつ手をかけ、原木の美しさと丈夫さを引き出した庄川挽物木地は、使い込むほどに味わいが増し、環境によって光沢や色調も異なってきます。中でも特徴的なのは、漆などが塗装されない白木地製品です。空気に触れているだけで、時とともに色に変化し、世界でただ一つの器へと育っていきます。使う人のために生まれたといっても過言ではありません。



「天然の木が、
日常にやさしさを。」

味

木の持ち味を活かす

素材には主にケヤキとトチが使われています。ケヤキは固くて重量感があり、ユニークな杢目が特徴。トチは変形しにくく、漆製品の木地として用いられてきました。その他、様々な素材が使われています。

お手入れは、直射日光を避け、日頃からホコリを拭き取る程度に空拭きすれば十分です。

ぜひ日常に取り入れ、本物が放つ存在感をお楽しみください。

